

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 教材開発の基礎としてのインストラクショナルデザインについて考えていく

（ 2020年 7月 9日作成）

氏名 久 世 均

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1. インストラクショナルデザイン	インストラクショナルデザインとは何か説明できる。	ADDIEモデルについて事例をあげて説明できる。				ADDIEのプロセスを検討し、折り紙を折れるようになる教材を作成しなさい。
2. 授業デザインの基本		サイモンのデザインの考えをもとに、授業デザインを状態記述と過程記述から説明できる。				各自の授業を取り上げ、状態記述と過程記述で授業デザインを検討しなさい。
3. 21世紀に求められる学力と学習環境	21世紀に求められる学力について説明できる。			知識習得モデルと知識創造モデルの違いを説明しなさい。	資質・能力を引き出す授業の条件を説明できる。	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>4. 教材の分析と設計</p>	<p>何を教えるのか、そのための教材作成のあり方について説明できる。</p>			<p>テレビなどのCMは、専門家がなんとか視聴者をひきつけようとして創作した作品である。どんなCMが印象に残っているか。それは何故か。メディアの特性をどのように使っているか。グループで話し合っ発表しなさい。</p>	<p>あなたは、どのような場面でメディアの影響を強く受けていると思うか、また、どのような場面でメディアの影響をあまり受けていないと思うかグループで話し合っ発表しなさい。</p>	<p>インターネットで、いくつかの教材を調べて、その教材の有効性を5段階で判定しなさい。そして、どのような要因でその判定結果になったかを書きなさい。</p>
<p>5. 学習目標のデザイン</p>	<p>ブルームの教育目標分類について、行動目標による例を取り上げて説明できる。</p>	<p>ガニエの学習成果の5分類について、具体例を挙げて説明できる。</p>	<p>明確な学習目標について、具体的な単元において説明できる。</p>			<p>ガニエの学習成果の5分類をもとに、各教科や単元を例にとって、グループで明確な学習目標を設定して発表しなさい。</p>

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>6. 教材開発のストラテジー</p>	<p>企業の教材開発の視点を説明できる。</p>	<p>①企業の教材開発の工夫を具体的な例を挙げて説明できる ②同じ正答であっても問題によって正答率が異なるのは何故か、具体例を挙げてグループで考えなさい。</p>	<p>①企業の教材開発におけるストラテジーとは何かを説明できる。</p>	<p>紙（アナログ）の教材と ICT（デジタル）を組み合わせた、連携させたりして新しい教材を、グループで話し合っ て考えなさい。</p>	<p>プリント教材の長所と短所について、グループで話し合っ て発表しなさい。</p>	<p>一斉学習、協働学習、個別学習のいずれかで活用でき そうなデジタル教材（タブレットアプリも可）を、グループで話し合っ て考えなさい。</p>
<p>7. 教材の開発とその活用</p>		<p>多視点映像教材の開発とその活用について具体的に説明できる。</p>			<p>看護技術の多視点映像タブレット教材を使っ てみて、他の教材への応用をグループで話し合っ て、その効果について考え なさい。</p>	
<p>8. 魅力ある授業をつくる</p>	<p>魅力ある授業をつくる教師の指導力について説明できる。</p>	<p>ガニエの9教授事象について具体例をあげて説明できる。</p>				<p>ガニエの9教授事象をもとに、魅力ある授業をつくる のにどんな授業展開を するとよいのかを具体的な教科名や単元名をあげ</p>

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

						ながら、グループで話し合って発表しなさい。
9. 学習意欲を高める	学習意欲を高める指導法について説明できる。	ジョン・M・ケラーのARCSモデルについて具体的に説明できる。		アンドラゴジーをもとにして学校式教育から大人の学び支援について、その違いを具体的に説明できる。	アンドラゴジーをもとにして、学校式教育から大人の学び支援について、その違いを具体的に5つあげて、KJ法を使って、グループごとに分類し、説明しましょう。	各グループで、学習の動機づけの具体的な方法をあげて、ジョン・M・ケラーのARCSモデルのどの分類にあたるか分類しましょう。
10. 協働的な学びをデザインする	ワークショップの手法を5種類説明できる。	ジグソー学習について具体的に説明できる。	協働学習の手法の一つである「ジグソー学習法」を経験し、学習者自身で知識を統合して答えを出す学習活動過程について理解を深め、その効用を検討してみましょう。			協働学習の考え方を理解し実際に授業デザインができる。

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>1 1. ICTの活用とその効果</p>		<p>ICT を活用した効果的な指導法について具体的に説明できる。</p>	<p>アンケートやインタビューによる行動変容の調査について具体的に説明できる。</p>		<p>一斉授業におけるメディアの活用と、個別指導におけるメディアの活用では、その学習形態は異なる。どのような学習が考えられ、学習環境に分けて、メディアの活用と学習形態について話し合ってください。</p>
<p>1 2. 授業を分析してみよう</p> <p>1 3. 教授・学習の理論と教育実践</p>	<p>授業記録の方法について説明できる。</p>	<p>授業分析の方法について具体的に説明できる。</p> <p>教授学習に関する基本的な理論を具体的に説明できる。</p>	<p>マイクロティーチングを実践できる。</p>	<p>行動主義と認知主義の2つの学習論の違いを説明できること。</p>	<p>授業改善のチェックリストをグループで作成しなさい。</p> <p>行動主義的学習論と認知主義的学習論、構成主義的学習論に対応した教材や課題（問題）を作成し、グループで協議をしなさい。</p>

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>14. 授業力の向上</p>	<p>教育委員会が必要とする資質・能力について具体的に説明できる。</p>	<p>資質・能力を高めるための校内研修の方法を実践できる。</p>	<p>教師の技能発達を認知と技術の統合で説明できる。</p>	<p>い。 自分の資質・能力について強み、弱みを分析し、グループで弱みを強みに変える校内研修を提案し計画を立案しなさい。 自分の教育技術を振り返り、課題として何があり、それを乗り越えるためにどうするか、について書いてみよう。</p>
<p>15. 教師の成長</p>	<p>教師の成長を、養成・採用・研修の過程で説明できる。</p>			